

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2008-505071(P2008-505071A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519168(P2007-519168)

【国際特許分類】

A 6 1 K	35/12	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	35/12	Z N A
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/00	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

実質的に生理学的なレベルのIL-2を発現する遺伝学的に改変された細胞の製造方法であって、

IL-2遺伝子を選択または構築し、

該IL-2遺伝子を有するレトロウイルスベクターを製造し、

ドナーまたは患者から細胞を回収し、

細胞を遺伝学的に改変し、

場合により、遺伝学的に改変された細胞を選択する、

ことからなる、上記方法。

【請求項2】

IL-2遺伝子は、配列番号11で示されるタンパク質、または、その機能的等価体をコードする遺伝子である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

IL-2遺伝子は、配列番号13で示されるタンパク質、または、その機能的等価体をコードする遺伝子である、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

IL-2 遺伝子は、配列番号 8、配列番号 10、および、それらの機能的等価体から選択される遺伝子である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法によって得られる、IL-2 の生産が可能なトランスジェニック哺乳動物細胞。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法によって得られるトランスジェニック哺乳動物細胞であって、改変されていない状態の細胞は、増殖に関して IL-2 依存性であり、それらを有意な量で生産することができないが、該トランスジェニック細胞は、外的な IL-2 を必要とすることなく増殖を維持するのに十分な量で IL-2 を生産する、上記細胞。

【請求項 7】

IL-2 が発現され、そして細胞の小胞体中に保留される、請求項 6 に記載のトランスジェニック哺乳動物細胞。